

日の出だより

Vol.42

日頃の疲れをリフレッシュしませんか？

日の出山荘 中曽根康弘・ロナルド レーガン
日米首脳会談記念館は、昭和58年11月11日、当時の中曽根康弘内閣総理大臣がロナルドレーガン米大統領を招き、日米首脳会談が行われた場所、現在は一般公開しています。東京都内とは思えないような静けさと自然を満喫できる空間で、例年 11 月中旬の紅葉の時期には、竹林を背景に木々の葉が色とりどりに染まり、その風情はまた格別です。

日の出山荘 中曽根康弘・ロナルドレーガン日米首脳会談記念館

- 開館時間／10時～15時30分（受付は15時まで）
- 休館日／月・火曜定休
（祝日の場合、翌日または翌々日）、年末年始
- 入館料／一般 300円、高校生・65歳以上 200円、小・中学生 100円
- 住 所／西多摩郡日の出町大久野 5270 番地
- TEL／042-597-7323
- 駐車場／あり ※バスの場合要予約
- 交 通／自動車：圏央道日の出インターから約20分



築160年の堂々き古民家「青雲堂」他、茶室風「天心亭」、迎賓館「書院」あり



人気のお土産は日の出山荘オリジナルパッケージの梅ワイン。町内産の梅で造った爽やか風味のワインです。また、町産の素材を使ったブルーベリー・梅・キウイジャムやトマトケチャップ、手作り味噌や椎茸・山栗・山ゆりの珍しい羊羹なども好評です。山荘オリジナル携帯ストラップも発売中!

新議長・副議長 挨拶

新議長 **水野 淳** （八王子市）

日の出町の皆様には処分場と本組合議会の運営に特段のご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、近年地球温暖化の防止など、環境に対する関心が高まってきております。中でも「ごみ問題」は大きな課題ですが、循環組合も焼却灰の全量エコセメント化など資源循環型社会の実現に向け努力しております。

組合議会としても安全で安心な処分場の運営と更なるご減量、資源化などに全力を尽くしてまいりる決意を申し上げ、議長就任の挨拶と致します。



新副議長 **石塚 陽一** （国立市）

日の出町の皆様のご理解とご協力をいただき、構成団体である25市1町を代表して感謝いたします。環境問題を考え「資源循環型社会」の大切さを認識し、ごみの削減に努め資源のリサイクル化に特化し、現在取り組んでいるエコセメント事業を充実させていく所存です。住みよい社会実現のために細心の注意を払い、私たち組合議会は責任を持って次世代の方々が安心して暮らせるように努力してまいります。



議会の報告

循環組合の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。平成21年第1回循環組合議会臨時会が7月29日に開催され、次の案件について審議しました。

議案と議決結果		
番 号	件 名	議決結果
議案第6号	専決処分（東京たま広域資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	承 認
議案第7号	監査委員（議会選出）の選任につき同意を求めることについて	同 意

『たまエコニュース』次号は
平成22年3月28日発行予定です

東京たま広域資源循環組合

TEL：042-385-5947 FAX：042-384-8449

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	昭島市
調布市	町田市	小金井市	小平市	日野市	東村山市	国分寺市
国立市	福生市	狛江市	東大和市	清瀬市	東久留米市	武蔵村山市
多摩市	稲城市	羽村市	西東京市	瑞穂町		

Info 家族で楽しむ マス釣り～参加者募集～

マス釣り、魚のつかみ取りなど、親子のふれあいを目的としたイベントです。

- 日 時 平成21年11月14日（土）11時～15時（雨天決行）
- 場 所 秋川国際マス釣り場（あきる野市養沢）
★JR武蔵五日市駅から無料送迎バスあり
500人（申し込み多数の場合、抽選）
- 定 員 大人（高校生以上）1,000円、子ども（小・中学生）500円
- 参加費 大人（高校生以上）1,000円、子ども（小・中学生）500円
- 内 容 マス釣り体験（軽食付き）
★未就学児は無料（軽食は付きません）
- 申し込み方法
往復はがきに、代表者の方の住所、氏名、電話番号、参加家族の人数（大人・子供・未就学児のそれぞれ的人数）、利用交通機関（電車・自家用車）、マス釣り体験人数（大人・子供）を記入して、下記申し込み先までお送りください。
- 申し込み締切 10月23日（金）必着



■申し込み先
〒197-0814 あきる野市二宮350
あきる野市企画政策部企画政策課内 秋川流域開発振興協議会事務局
TEL.042-558-1111（内線2211）

循環組合の動き

- 3月 3日（火） ポット苗植樹祭開催
- 3月 25日（水） 谷戸沢処分場水質等調査結果公表（平成20年度第3四半期分）
ニツ塚処分場水質等調査結果公表（平成20年度第3四半期分）
エコセメント化施設水質等調査結果公表（平成20年度第3四半期分）
- 5月 20日（水） ニツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
- 5月 29日（金） 第21回循環組合技術委員会
- 6月 18日（木） 第25回環境保全調査委員会
- 6月 24日（水） 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
- 6月 29日（月） 第22自治会ニツ塚処分場対策委員会
- 7月 3日（金） 平成21年第2回正副管理者会議
- 7月 6日（月） 谷戸沢処分場水質等調査結果公表（平成20年度分）
ニツ塚処分場水質等調査結果公表（平成20年度分）
エコセメント化施設水質等調査結果公表（平成20年度分）
ダイオキシン類調査結果公表（平成20年度分）
- 7月 14日（火） 平成21年第2回理事会
- 7月 29日（水） 平成21年第1回議会臨時会
- 8月 24日（月） 第33回谷戸沢処分場環境影響評価委員会

○「環境報告書 2009」 平成20年度に取り組んだ環境保全に向けた取り組みの内容や成果を「環境報告書 2009」としてまとめました。ホームページで公開しています。

PRESENT 『たまエコニュース』50号発行記念
ごみ減量アイデアでプレゼント!

- ①日の出町「日の出山荘 中曽根康弘・ロナルドレーガン日米首脳会談記念館」無料ペアご招待券 20組40名様
- ②11/14 秋川国際マス釣り場 無料ご招待券 20家族（1家族4名様まで）
- ③日の出町つるつる温泉送迎機関車バスチョロQ（2台セット）10名様
外れた方の中から抽選でエコバッグ・ボールペンセット 20名様

ごみ減量や資源の活用について、あなたのアイデアや体験談をお寄せください。家庭や地域、学校や職場などでの取り組みや、実際にごみ減量に成功した事例などを広く募集します。その内容を紙面に掲載する場合もあります。ご応募いただいた方には、抽選で上記の品をプレゼントします。

【応募方法】 はがき/FAX/電子メールにて受け付けます。ごみ減量アイデア活動内容、①～③の希望賞品いずれか、氏名（グループの場合は代表者）、住所、年齢、職業（学年）、電話番号をご記入の上、下記の循環組合「たまエコニュース」係までお送りください。
◆メールでの応募は専用アドレスまで
eco-idea@tama-junkankumiai.com

※後日取材させていただく場合があります。締切:10月20日（当日消印有効）

「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
[メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com

http://www.tama-junkankumiai.com



ネットで検索 クリック

循環組合

多摩400万人のごみ情報紙

たまエコ ニュース

2009 SEP.

VOL. 50

発行: 東京たま広域資源循環組合
【事務局】 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

「循環組合」
とは...

ニツ塚処分場・谷戸沢処分場（日の出町）を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみなさまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用しています。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

エコセメント化施設の本格稼働から3年

ニツ塚処分場の埋立量が 着実に減少しています！

処分場への埋立量は
前年に比べ
約26%も減少しました！

多摩地域 25 市 1 町から出されるごみは、それぞれの自治体が運営する清掃工場（中間処理施設）に運ばれ、そこで可燃ごみは焼却し、不燃ごみは細かく破碎するという処理が行われます。その後、日の出町にあるニツ塚処分場に運ばれて、可燃ごみの焼却灰はエコセメントにリサイクルされ、不燃ごみは埋め立てられます。

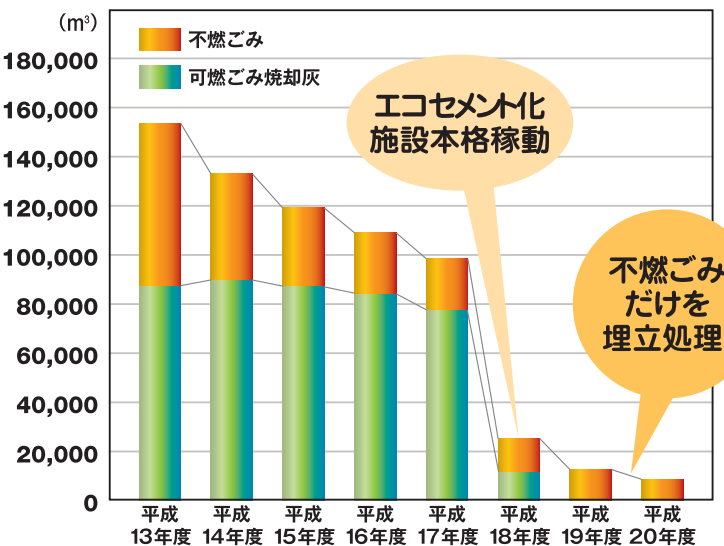
多摩地域住民のみなさんのご減量や資源化などの取り組みによって、処分場に埋め立てられるごみの容量は、平成13年以降、8年連続で減少しています。平成20年度の埋立量は5,623㎡、前年度と比べて約26.6%も減少しました。また、平成18年度と比べると、約73%の大幅な減少になりました。

エコセメント化施設の稼働で
可燃ごみ焼却灰はリサイクルされ、
埋め立てるのは不燃ごみだけに

循環組合では、資源循環型の社会づくりを推進するため、可燃ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。「東京たまエコセメント化施設」が平成18年7月に本格稼働して以来、それまで埋め立てられていた焼却灰が、資源として全量リサイクルされています。エコセメント事業により処分場への埋立は不燃ごみだけとなり、埋立量を大幅に削減することができました。しかし、ニツ塚処分場ではいまでも不燃ごみの埋立が続いています。限られた処分場を有効に利用していくため、ごみの減量や資源化に、引き続きご協力ください。

ニツ塚処分場の埋立量の推移

ニツ塚処分場に埋め立てられた
可燃ごみ焼却灰と不燃ごみの量の推移



平成18年7月から本格稼働している東京たまエコセメント化施設

裁判 レポート

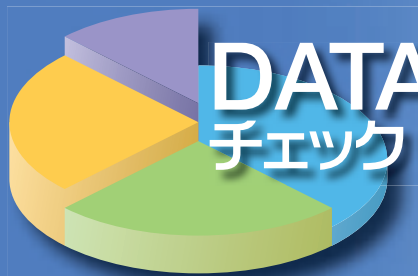
谷戸沢・ニツ塚処分場をめぐる裁判の、高裁判決が出ました ～組合の主張が全面的に認められる～

● 石川良一管理者（稲城市長）

このたび「一般廃棄物最終処分場建設差止等請求訴訟」の控訴審判決が平成21年6月16日に東京高等裁判所であり、第一審に続き循環組合が全面勝訴いたしました。この裁判は、平成7年2月に日の出町にある谷戸沢処分場及びニツ塚処分場に埋め立てたすべての廃棄物の撤去等を求めて提訴されたものです。平成18年9月に第一審の判決が東京地方裁判所八王子支部であり、循環組合が全面勝訴しています。現在、原告は上告の手続きを取っていますが、このように控訴審においても全面勝訴できましたのは、日の出町や地元自治会をはじめ町民の皆様のご私どもの事業に対しての並々ならぬご理解とご協力が

あったこそだと深く感謝しております。そして、この一般廃棄物最終処分場は、多摩地域400万人の住民の皆様が安心して生活していく上で必要不可欠なものであります。私どもは、多摩地域のリサイクルをさらに進める、ニツ塚処分場を長く有効に活用する、安全な埋立対策をさらに進めるなど、資源循環型社会の実現に努力してまいります。循環組合といたしましては、今後とも、最終処分場やエコセメント化施設の安全管理・運営について、日の出町や地元自治会等のご理解とご協力を得て、万全を期していくことはもちろんのこと、環境にもより一層配慮しながら事業を進めてまいります。





多摩25市1町が一体となってごみを削減!!

ごみ問題への意識が高い多摩地域では、住民のみなさんがごみ減量に積極的に取り組んでいます。その活動は着実に成果を上げています。

*平成 20 年度 日の出町ニツ塚廃棄物広域処分場・エコセメント化施設搬入状況実績について、ホームページでも公開しています。
<http://www.tama-junkankumiai.com/works/carrying/2008.html>

平成20年度 組織団体別廃棄物搬入量

組織団体 (25 市 1 町) 各市町の人口と
ニツ塚処分場およびエコセメント化施設への廃棄物搬入量

組 織 団 体	人 口 (人) 平成 20 年 10 月 1 日現在	搬 入 量 (トン)
八 王 子 市	556,296	11,167
立 川 市	177,139	6,015
武 蔵 野 市	136,886	3,514
三 鷹 市	179,053	2,265
青 梅 市	140,008	2,957
府 中 市	246,869	2,381
昭 島 市	112,754	2,629
調 布 市	218,471	2,963
町 田 市	419,549	8,824
小 金 井 市	113,379	1,969
小 平 市	183,197	5,119
日 野 市	175,786	4,542
東 村 山 市	149,820	3,047
国 分 寺 市	117,542	2,574
国 立 市	74,258	949
福 生 市	60,895	1,445
狛 江 市	76,935	755
東 大 和 市	83,139	2,476
清 瀬 市	73,454	1,685
東 久 留 米 市	116,452	3,042
武 蔵 村 山 市	70,391	1,975
多 摩 市	147,364	4,025
稲 城 市	81,982	890
羽 村 市	57,667	1,250
西 東 京 市	193,488	4,367
瑞 穂 町	34,439	967
合 計	3,997,213 人	83,792 トン

※搬入量は小数点以下を四捨五入しており、端数調整を行っている
※人口：「住民基本台帳による世帯と人口」東京都総務局統計部

多摩地域で収集されたごみの量は 前年と比べて約43,000トンも減少しました

平成 20 年度の 1 年間に、ニツ塚処分場に持ち込まれたごみの量 (搬入量) は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて 83,792 トンでした。前年と比較すると 5,310 トン、約 6%の減少になりました。処分場に埋め立てなければならない不燃ごみの搬入量は 4,139 トン、前年比では約 26.6%と大きく削減されました。

また、多摩 25 市 1 町で収集されるごみの量については、前年と比べて、可燃ごみは 24,523 トン減の 799,819 トンに、不燃ごみは 8,368 トン減の 90,036 トンでした。多摩地域の人口は、1 年間で 25,082 人増加しているの、住民 1 人が出すごみの量が確実に減っているのが読み取れ、多摩地域のごみ問題への意識の高さがうかがえます。

ごみの搬入量

平成18年度	平成19年度	平成20年度
96,554 トン	89,102 トン	83,792 トン

約 6%
減!!

25市1町の総ごみ量比較

総ごみ量とは、市町による収集ごみと、許可業者等が収集して市町の処理施設に搬入する持込ごみを合わせた量

	平成19年度	平成20年度	前年度比較
人 口 (人)	3,972,131	3,997,213	+25,082
可 燃 (トン)	824,342	799,819	-24,523
不 燃 (トン)	98,404	90,036	-8,368
資 源 (トン)	250,292	240,976	-9,316
粗 大 (トン)	29,412	28,288	-1,124
有 害 (トン)	1,661	1,603	-58
合 計	1,204,111 トン	1,160,722 トン	-43,389 トン

※組合組織構成団体25市1町の合計の数値
※「多摩地域ごみ実態調査(平成 20 年度統計) 財団法人東京市町村自治調査会」より

不燃ごみの埋立は続いています さらなるごみ減量を!

多摩地域の資源循環型の社会づくりを推進しているのが、循環組合が取り組む「エコセメント事業」です。可燃ごみ焼却灰がエコセメントとして道路の側溝や縁石、インターロッキングブロックなどに生まれ変わること、新たな物質循環のモデルが構築され、多摩地域の資源化率を大幅に伸ばすことに貢献しています。

しかし、ニツ塚処分場では現在も不燃ごみの埋立が続いています。ニツ塚処分場は平成 21 年 3 月までに約 44.1%の埋立が終了しています。限りある処分場を有効に利用していくためには、多摩地域の住民のみなさん一人ひとりが、さらなるごみ減量や資源化に取り組むことが不可欠です。より一層のごみ減量にご協力ください。



車止めや歩道の舗装材など、さまざまな分野でエコセメント製品が使われています(福生市庁舎の車止め、歩道、V 型側溝)



不燃ごみが埋め立てられているニツ塚処分場、奥に見えるのがエコセメント化施設

知っていますか?

わたしたちが出したごみのゆくえ 夏休み処分場見学会を行いました

毎年恒例の「夏休み処分場見学会」を8月7日(金)、21日(金)に実施しました。親子を含む 59 名の方々にご参加いただきました。

見学会ではまず、多摩地域の清掃工場でごみ処理の様子を見学。ここでは、家庭から出された可燃ごみを焼却、不燃ごみを小さく破砕するなど、ごみの種類に応じた処理が行われています。間違った分別が引き起こす事故例を見た参加者は、「やはり分別は大事」「徹底しないといけない」などの感想を口にしていました。

午後は日の出町のニツ塚処分場で可燃ごみ焼却灰をリサイクルするエコセメント化施設と、不燃ごみ埋立区域などを見学しました。その後、埋立が終了した谷戸沢処分場へ移動し、周辺の動植物について環境指導員の説明に耳を傾けました。親子で標本に見入ったり、散策で虫を探すなど、谷戸沢の自然に触れました。家庭から出されたごみの処理について、その流れを追いながら学んだ一日でした。

また、8月20日(木)、25日(火)に、組合議員の視察が行われました。処分場の現状把握のため、谷戸沢・ニツ塚の両処分場、エコセメント化施設を熱心に見学しました。



クリーンセンター多摩川(多摩川衛生組合)でゴミピットを見学しました



中央制御室で24時間管理、また施設内を歩いて変化がないかチェックしています



エコセメント化施設では、模型を見ながら製造工程について聞きました。その後、谷戸沢処分場を散策しました

協力/8月7日:多摩川衛生組合、8月21日:武蔵野クリーンセンター

ごみ減量レポート

多摩25市1町のごみ減量の取り組みをご紹介します

青梅市

人口:139,818人
(平成21年1月現在)

レジ袋削減のための三者懇談会や 家庭での生ごみリサイクルを推進

青梅市では平成元年から10年間、生ごみ堆肥化容器の購入費補助を実施してきました。全世帯の2割にあたる約11,000台を補助し、その後は段ボール箱を利用した堆肥化などを推進しています。年2回の勉強会で専門家が堆肥化のコツや注意事項を伝え、各家庭での普及をめざしています。

またレジ袋削減では、市とスーパーなどの企業、そして市民による三者懇談会を設けて意見交換を行い、今年度は辞退率60%を目標に掲げました。年2回のキャンペーンでは店頭でPR活動を展開しています。

例年開催していたリサイクルフェスティバルを見直し、昨年度からは「ごみ減量リサイクル通信」の発行に変更。「より多くの市民の目に触れて、生活の中で継続して取り組めるような情報の発信をめざしています」と同市ごみ対策課の吉田和雄さん。さまざまな方法で、ごみ減量への理解と実行を促しています。



市と企業、市民とが三位一体で取り組む「レジ袋削減マイバッグキャンペーン」

エコセメント 通信



あなたの身近でエコセメントが活躍しています

～立川拘置所 北側道路～



▲縁石・側溝

今後、多摩地域やそのほかの地域で使われていくエコセメント製品をご紹介します。

循環組合の環境回復の取り組み

ポット苗レポート

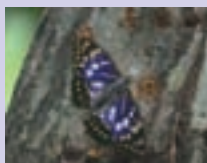
3小学校がポット苗育成に取り組んでいます

循環組合では、ニツ塚処分場の自然環境保全のため「ポット苗育成事業」を展開しています。処分場内の約4割にあたる緑地を、スギやヒノキの針葉樹林から広葉樹も繁る多種混交林へと転換を図るため、多摩産のドングリなどの種子を散布し、またポットで生長させた苗の補植を継続的にを行っています。

平成19年度からの青梅市立第六小学校(21年3月終了)、平成20年度からの立川市立第四小学校に続き、平成21年度は東久留米市立第六小学校と福生市立第五小学校の5年生が活動に参加、2年にわたりポット苗を育成してニツ塚処分場の林内に補植する予定です。



谷戸沢処分場のいま



▲谷戸沢処分場では今年7月、国蝶のオオムラサキが観察されました

適切な維持管理で 自然が回復しています

昭和59年から平成10年までの14年間、多摩地域から出るごみは谷戸沢処分場に埋め立てられていました。循環組合では、埋立終了後も適切な維持管理を続け、定期的に生態モニタリング調査を実施しています。現在、埋立跡地は22ヘクタールもの広大な草原になり、清流復活事業として設けた敷地内の貯水池には、水辺を好む鳥類やトンボ類が増加しています。四季を通してさまざまな植物が生い茂り、多彩な動植物が息息、最近はおオムラサキが確認されています。



▲福生市立第五小学校の見学会の様子(7月22日)